

かわさき アートニュース



Vol.275

2019年5月号



第44回
川崎大師

新能
—TAKIGI-NOH—

02 特集

新たな御代の

平和を祈念する能『賀茂』

インタビュー：山階彌右衛門さん（シテ方観世流能楽師）

CONTENTS [目次]

- 04 | 音楽 ミューザ川崎シンフォニーホール
- 07 | 歴史・文化 東海道かわさき宿交流館
- 08 | イベントレビュー
- 10 | 美術 市内ギャラリー情報
- 13 | 演劇 アルテリオ小劇場
- 14 | 映画 アルテリオ映像館

川崎大師薪能

新たな御代の平和を祈念する能『賀茂』

インタビュー：山階彌右衛門さん(シテ方観世流能楽師)

薪能(たきぎのう)は、かがり火を焚いた幻想的な雰囲気の中で、能・狂言を上演する行事です。風薫る5月、川崎大師平間寺の境内に設置された特設舞台で、気軽に幽玄の世界を堪能してみませんか。能『賀茂』でシテ(主役)を演じる山階彌右衛門さんに、初めての方でも楽しめる見どころをお伺いしました。

新天皇が即位する5月 新たな御代の平和がテーマ

——なぜ『賀茂』を選曲されたのですか？

5月は平成が終わり、新しい新天皇様の御代での薪能となりますので、『高砂』や『養老』などと同じく神様が主役の“脇能”という分類の『賀茂』を選ばせていただきました。特に『賀茂』には若い女性が出てきますので、装束にいろんな色や刺繍があって華やかなんです。新天皇が即位し、次の御代も平和でありますようにという想いが根底のテーマにあります。

京都の賀茂神社にまつわる神話

——あらすじを教えてください。

播州(兵庫県)室の明神の神職が京都に観光に訪れた際、賀茂神社に参詣します。すると2人の女性が、初夏の情景を歌に詠みながら登場します。そこで神職が「ここに祀られている白羽の矢は何ですか」と尋ねると、女性は矢の謂れを語り出します。その謂れとは、ある女性が、御手洗川という所で神様にお供えするお水を汲んでいたら、上流からその矢が流れてきて桶にコッソリと当たった。矢を家の前にお祀りしたら、妊娠して子どもを産み、その矢は別雷神という神様に、そして母も子も神様になり、京都の有名な賀茂の三所の神様となったと

いうものでした。前半は、このように女性たちが賀茂神社の由緒を語る場面と、その後、賀茂川の様々な呼び名を歌にした「川づくしの謡」を謡いながら、舞台を半周する場面が見どころです。

後半は、初めに狂言方が演じる末社神という少しコミカルな神様が出てきます。舞が面白く、例えば能だと「おひやら〜いほ〜うほひ〜」という舞を、狂言だと「おひゃ、ら、ほうほうひ」など、途中でぶつぶつと切り、コメディックに舞うんですね。その後に出てくる天女は、末社神と同じような舞を本来の型で舞いますので、見比べるのも面白いでしょう。最後は、この能の一番の見どころで、矢の正体だった別雷神が勢いよく登場して、雷鳴を轟かせ、雨をざっと降らせ「この御代が平和でありますように」と言って帰っていきます。

初めての方も楽しめる 穢れを落とす雷神の力強い舞

——盛りだくさんですね！初めての方はどのようなところが楽しめそうでしょうか？

舞に重さが置かれている後半は、特に楽しんでいただけたと思います。天女は優雅な女性らしい舞で、別雷神は足拍子をドンドン踏み、雷がゴロゴロしている様子を表すような力強い舞になっていますので、両方をご堪能いただけるのが魅力ですね。上演時間は70分程度を予定しています。

また、野外ですので、ちょうど暗くなった月明かりの頃に別雷神が登場します。一応晴れ男なので大丈夫だとは思いますが…。あるいは雷の神様ですので、もし最後に足踏みをした途端、雨がざあっと降り出したら、それはそれですごくことですよね(笑)！

雷というと、普通はゴロゴロして良くないようなイメージがあると思いますが、雨が降るといのはシャワーを浴びるのと同じで、穢れみたいなものをパーッと落としてくれるとされています。

お寺で神様が舞っても問題ない？ 日本独自の水波思想

——少し気になったのですが、お寺に神様が現れても大丈夫なのでしょう？

日本には水波思想という考えがあり、「もともと神道も仏教も同じ水で、波が立って別れた」とされていますので、全く不自然なことではないんです。

仏教が伝来した聖徳太子の時代、日本には皇室に連なる神道があり、仏教は言わば新興宗教でした。そこで、信者を増やすためにどうしたかという「神道のなになにの神様は、仏教のなになに様と同じだった」と言って神社とお寺をくっつけていったわけなんです。同じ場所が神社でありお寺であり、導師様も神主様も兼任するところが多かったそうですよ。ところが、明治維新の際、薩長の藩士たちが神社仏閣の力を恐れて両者を分断してしまいました。無理矢理分けたものですから、どこも土地の境界線で揉めて、今も仲が悪い所が多いようです。

お能は室町時代から続く芸能ですので水波思想が根付いており、今回の『賀茂』も、天女はたいてい観音菩薩様ですので仏教で、別雷神は神道。両者が舞台上で仲良く舞うんですよ。ですから、川崎大師様で神様が舞っても何ら問題なく、むしろ弘法大師様の御前に別雷神がいらして、「お互い頑張りましょう」というのもあるのではないかなと思っています。

数少ない奉納の舞台

——山階さんにとって川崎大師薪能はどういうものですか？

叔父が川崎大師薪能を始めた頃、私は20代の修業時代から舞台に出させていたいておりました。薪能で演じるのは大変勉強になります。例えば「1時間半かかるお能を、お客様を退屈させないよう1時間に短縮」という指示が当日その場であります



プロフィール

山階 彌右衛門
(やましな やえもん)

昭和36年生まれ／二十五世 観世左近 次男／父及び二十六世 観世清和に師事／重要無形文化財総合指定保持者／一般社団法人観世会副理事長／一般財団法人観世文庫常務理事

◆今回のシテ(主役)・別雷神の姿

●面:大飛出

金塗りで、目と口は「か〜っ」と開いている。

●御幣

サラサラと振る動作によって雨や風、雷が鳴る様子を表し、穢れを流す。

●装束

狩衣には神社の紋・巴丸が、袴には雷模様を描かれている。たくさん幾何学模様によって、止まっても動きがあるように見える。

能「賀茂」観世芳伸(撮影:前島吉裕)



◆前回のシテ・「鶺鴒」閻魔大王の姿



平成30年度 川崎大師薪能「鶺鴒」観世芳伸(撮影:前島吉裕)
 昨年の閻魔大王は、別雷神と格好が似ているが、面:小癒見は赤く、口は「ん」の形で別雷神とは阿吽になっており、装束は重量感のある紋だった。

ので、リハーサルも無いまま、瞬時に理解し演じなければなりません。また、川崎大師の舞台は、端の目印となる柱がありませんので、下手すると舞台から落ちる可能性もありますし、大変滑りやすいので、腰に力を入れて踏ん張るなど、普段とは違う部分にも気を使いますね。

関東に残っている薪能の中でも、神社仏閣に奉納するものは少なくなってきています。本来薪能は神様や仏様に奉納するという精神のもので、川崎大師薪能は貴重な舞台です。

観世流家元による本物の「藤戸」

—観世流家元の観世清和さんは、『藤戸』という演目を舞囃子形式*で演じてくださいます。

*面・装束をつけず紋服・袴姿で、地謡と囃子を従えて、能の一番面白い部分を舞う形式。

家元の舞囃子「藤戸」も非常に見どころがあります。披露するのは、侍の横暴によって海に沈められた男性の亡霊が舞う場面です。地獄から細長い杖をコツコツとついで男が登場し、自分が刀で殺されたことを表す場面では、杖が刀に、最後に成仏す

る場面では、杖が三途の川を渡る船の棹に変わります。杖という小道具を一本だけ使って様々に表現していく、非常に難しい芸の一つです。また、男が舞うのは、まさに川崎大師のように海が近く浜風を感じる月明かりの夜です。ぴったりのシチュエーションですので、能楽堂では味わえない、本物の『藤戸』をご覧いただくことができる機会になると思います。

五感で味わっていただきたい

—山階さんは会場に着くと、空を見上げたり土地の食べ物を食べたりするそうですね。

私は参道を散歩するなど、土地の雰囲気味わってから舞台上るというのを大切にしています。ぜひ皆様も参道を歩いて、境内を散策して、お能をご覧いただいて、そしてまた参道を帰って行かれてみてください。もしかしたら弘法大師様も同じようなことをされたかもしれませんよね。

—最後にお客様へメッセージをお願いします。

お客様には五感で楽しんでいただきたいと思っています。最初に簡単なストー

リーはパンフレットで読んでいただくのがいいと思うのですが、開演前に解説もごさいます。せっかくの野外での薪能ですから、お話の意味ばかり追いかけるのではなく、浜風が吹いてきたり、薪のパチパチといった音も能の一つの音楽になったり、そうした薪能ならではの雰囲気も一緒に楽しんでいただくといいかなと思いますね。

公演情報 Information

第44回川崎大師薪能

[日時] 2019.5.24(金) 17時半開演

[会場] 大本山川崎大師平間寺 特設舞台 (雨天時:信徒会館)

[演目] 薪能法楽

大導師 貫首 藤田隆乗 (大本山川崎大師平間寺)

仕舞「巻網」鶺鴒 久

「松風」観世 恭秀

「山姥」観世 芳伸

狂言「墨塗」三宅 右近

舞囃子「藤戸」観世 清和

能「賀茂」山階 彌右衛門

◆開演前17時より出演能楽師による演目の見どころ解説を予定しています。

[チケット]

◆チケットぴあ(Pコード:492-815)

TEL:0570-02-9999

◆川崎駅北口かわさききたラス観光案内所

平日9:00~20:00(土日祝日は19:00)

◆ミュージアム川崎シンフォニーホールチケットセンター

TEL:044-520-0200(10:00~18:00)

◆大本山川崎大師平間寺

※U25チケットは取扱いなし

TEL:044-266-3420(9:00~15:30)

◆ラゾーナ川崎プラザソル

TEL:044-874-8501(10:00~20:00)

ほか

[料金] S席6,000円

(区分指定・区内自由/雨天時 信徒会館入場可)

A席4,000円

(区分指定・区内自由/雨天時 払い戻し)

U25 2,000円

(当日要身分証提示。区分指定・区内自由/雨天時 払い戻し)

※A席、U25チケットは雨天時に信徒会館への入場はできません。

[主催] 川崎大師薪能実行委員会

[お問い合わせ] 川崎市文化財団 川崎大師薪能係

TEL 044-272-7366(平日9:00~17:00)

チケット好評発売中



ミュージザ川崎シンフォニーホール おすすめ公演情報

ミュージザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団
名曲全集第146回

[会場:カルッツかわさき]

昨年NHK全国学校音楽コンクールに出場した
川崎市立坂戸小学校合唱団の出演決定!

[日時] 5月12日(日) 14:00開演

[出演] 指揮:飯森範親

バリトン:ヴィタリ・ユシュマノフ◆

児童合唱:川崎市立坂戸小学校合唱団♥

合唱:東響コーラス★

[曲目] ムソルグスキー:はげ山の一夜(オペラ「ソローチンツィの市」1880年版)◆♥★

ボロディン:だったん人の娘たちの踊り、だったん人の踊り★

チャイコフスキー:大序曲「1812年」♥★

カリンニコフ:交響曲 第1番

[チケット] S席6,000円、A席5,000円、B席4,000円、C席3,000円



飯森範親



ヴィタリ・ユシュマノフ



川崎市立坂戸小学校合唱団

ミュージザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団
名曲全集第147回

[会場:カルッツかわさき]

スダーン元音楽監督と東京交響楽団が創り上げる、洗練されたシューマン

[日時] 6月16日(日) 14:00開演

[出演] 指揮:ユベール・スダーン

ピアノ:菊池洋子

[曲目] シューマン:「マンフレッド」序曲、シューマン:ピアノ協奏曲 イ短調

チャイコフスキー:マンフレッド交響曲

[チケット] S席6,000円、A席5,000円、B席4,000円、C席3,000円



ユベール・スダーン



菊池洋子

ミュージザ川崎シンフォニーホール15周年記念事業
「川崎おんがくかるた」読み札募集!

ミュージザ川崎シンフォニーホールでは、2019年の開館15周年を記念して「川崎おんがくかるた」をつくります。

この読み札を、広く一般のみなさまから募集します。

テーマは「ミュージザ」「音楽」「川崎市」いずれかに関することならなんでもOK!ぜひ、奮ってご応募ください。

採用された方には完成品を差し上げます。

[募集期間] 2月1日(金)~5月5日(日)必着

[募集内容] 「あ」~「わ」までの読み札(20文字以内)※「ゐ」「ゑ」「を」「ん」は除く

[応募方法] 下記①~③のいずれかの方法でご応募ください。

①ホームページの専用フォームから入力 <https://www.kawasaki-sym-hall.jp/15th/form/>

応募用紙に記入して ②FAX:044-520-0103まで送信

③ミュージザ川崎シンフォニーホール4Fチケットカウンターに設置の応募箱に投函

※お1人様何点でも応募いただけます。 ※応募作品は、自身が作成したオリジナル、かつ、未発表で第三者の著作権を侵害しないものとします。

※応募作品の使用権は主催者に帰属し、無償で使用させていただきます。 ※応募作品は、主催者が変更・修正を加えさせていただくことがあります。

[お問合せ/主催] ミューザ川崎シンフォニーホール 044-520-0200(10:00~18:00)



MUZA音楽サロン

～五感を研ぎ澄ます～

午後のひととき、お茶とトークを楽しみつつ、様々な角度から音楽の楽しみ方をご紹介します。
 休館中の今回は、音楽と異分野の組み合わせで、五感をフルに使った音楽との出会いをお届けします。
 各回とも14時開演(16時終演予定)途中にティータイム20分をはさみ、お茶とお菓子でおもてないたします。

[会場] ミューザ川崎シンフォニーホール 市民交流室

各回とも、全席自由3,000円(お菓子・ドリンク付き) **限定100席**

第3回

「音と静寂、サイレンスという名の音」

[日時] 4月16日(火)14:00開演

[出演] プレゼンター: オヤマダアツシ

トークゲスト: 三浦性暁

(浄土真宗本願寺派 信行寺 僧侶)

ヴィオラ: 多井千洋(東京交響楽団ヴィオラ フォアシュピラー奏者)

ピアノ: 内門卓也

[曲目] J.S.バッハ: 無伴奏チェロ組曲より、ブリッジ: 小川の枝垂れ柳 他



オヤマダアツシ



三浦性暁



多井千洋



内門卓也

第4回

「音で味わうビール!」

[日時] 5月13日(月)14:00開演

[出演] プレゼンター: 大木麻理(オルガン)

トークゲスト: 葛田洋一(ベアレン醸造所)

トランペット: 井上直樹(山形交響楽団首席トランペット奏者)

[曲目] J.S.バッハ: カンタータ「心と口と行いと生活で」より第1曲

J.S.バッハ: カンタータ「目覚めよ、と呼ぶ声が聞こえ」より第4曲 他



大木麻理



葛田洋一



井上直樹



BAEREN

第5回

「音を匂う、香りを聞く。聞香のすゝめ」

[日時] 6月7日(金)14:00開演

[出演] プレゼンター: 大村利子(香道御家流宗家直門)

フルート: 相澤政宏(東京交響楽団首席フルート奏者)

フルート: 濱崎麻里子(東京交響楽団フルート奏者)

ピアノ: 大堀晴津子

[曲目] ケーラー: 花のワルツ 他



大村利子



相澤政宏



濱崎麻里子



大堀晴津子

最響のオーケストラが集う 川崎の夏・音楽祭!

詳細は特設サイト

サマーミュージザ

をご覧ください♪

<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>



特設サイトは
こちらからも
ご覧いただけます

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

15
YEARS

ホール開館15周年記念事業

フェスタ サマーミュージザ KAWASAKI 2019

15年目の熱響へ!

7.27 sat - 8.12 mon
ミュージザ川崎シンフォニーホール

主催:川崎市、ミュージザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ) 後援:川崎市教育委員会、公益社団法人日本オーケストラ連盟、WAVE、OTTAVA beyond 2020
モデル協力:景山梨乃(東京交響楽団首席ハープ奏者) 濱崎麻里子(東京交響楽団フルート&ピッコロ奏者)
野沢岳史(東京交響楽団トランペット奏者) 多井千洋(東京交響楽団ヴィオラ・フォアシュベラー奏者)

チケット発売日

WEB

セット・1回券
同時発売

4/21
10:00~

一般

セット・1回券
同時発売

4/26
10:00~

※ミュージザ友の会先行発売初日は10:00~、
電話予約とWebのみで販売(窓口は2日目より)
※8/2「PMF」の一般発売は4/27(土)10:00~。
WEB会員先行はありません。
※ミュージザ友の会先行で売切の場合はWEB先行、
一般発売でご用意できない可能性があります。

チケットのお申込み

ミュージザ川崎シンフォニーホール

● 044-520-0200 (10:00~18:00)

● チケットカウンター (10:00~19:00)

● ミューザWebチケット

<http://muza.pia.jp/>

(24時間対応、火・水2:30~5:30を除く)
※発売初日は10:00~

プレイガイド

チケットぴあ (24時間対応、火・水2:30~5:30を除く) ※発売初日は10:00~

[インターネット受付対応] <http://pia.jp/t>

[一般用音声認識対応] 0570-02-9999

ミュージザ川崎イープラス <http://eplus.jp/kawasaki>

ローソンチケット 0570-000-407 (10:00~20:00)

(Lコード) ミューザ公演:34863/しんゆり公演:34892

JR川崎駅中央西口直結

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL





東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



休館日：毎週月曜日。月曜が祝日の場合は、翌日が休館。

企画展 佐藤惣之助と沖縄

川崎が生んだ粋な粹人 佐藤惣之助。
彼と沖縄の絆を中心に展示します。

日時／4月9日(火)～5月26日(日)9時～17時

料金／無料 会場／東海道かわさき宿交流館3階 企画展示室



佐藤惣之助

お昼の落語

日時／5月8日(水)14時開演(13時30分開場) 定員／抽選100名(全自由席)

料金／無料(往復はがきによる抽選)

往復はがきに、住所・氏名(2名まで・その場合はそれぞれのお名前をお書き下さい。)*電話番号を明記の上、
〒210-0001 川崎区本町1-8-4 東海道かわさき宿交流館まで。

締め切り／4月20日(土) 抽選結果／4月25日(木)までにご連絡(返信)します。

会場／東海道かわさき宿交流館4階 集会室 出演／前座：桃月庵 ^{とうげつあん} ひしもち、二ツ目：春風亭 ^{しゅんぷうてい} 正太郎

街道講演会 「徳川家康の大御所政治」

徳川家康は将軍職を秀忠に譲ると、自らは大御所として、慶長12年(1607)に駿府城に入りました。今回は、この駿府における大御所政治の対大名政策・対朝廷政策・対外関係などについてお話しします。

日時／5月25日(土)14時開演(13時30分開場)

料金／無料 定員／先着100名(自由席・事前予約不要)

会場／東海道かわさき宿交流館4階 集会室

講師／本多 隆成

【プロフィール】

1942年生まれ。大阪市生まれ。大阪大学文学部史学科卒。

専門分野は、戦国期から近世(江戸時代)にかけて。内容は、主として「東海地域史研究」と「徳川家康の研究」。

現在：静岡大学名誉教授。



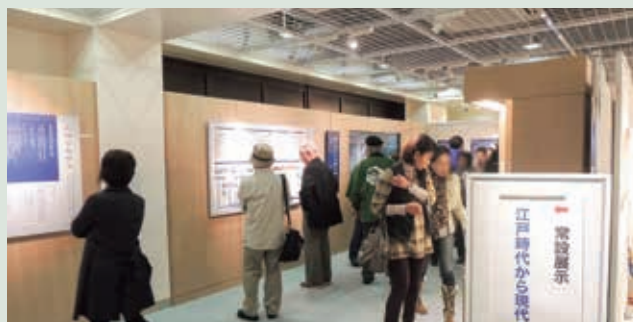
展示－宿場時代の川崎(2階)

江戸時代の川崎宿の歴史や当時の情報があります。
旅人の衣装を着て記念撮影もできます。



展示－江戸から現代へ(3階)

明治以降の川崎市の歴史や、ゆかりの人物などの展示があります。



貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4

TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314

http://www.kawasakishuku.jp/

【アクセス】京急川崎駅より徒歩約6分、

JR川崎駅中央東口から徒歩約10分、北口東から徒歩約10分



江戸時代の粋に遊ぶ その36

『詩吟』



お越しくださったのは、詩吟ユニットxie (シエ)。メンバーは、詩吟アーティスト恵聖(けいせい)とサウンドクリエイターHagiさん。また、田野村聡さんという尺八演奏家の方も加わり、豪華なステージでした。

詩吟は、和歌・漢詩・俳句などを使って、日本独特の節回りで歌い…というどこか堅苦しいイメージでしたが、心地よい音色のシンセサイザー、華やかな踊り、キリと締まる尺八の音色が溶け合って、とても良い雰囲気でした。新しい詩吟を目指しているとのこと。特に面白かったのは、『ミッションインポッシブル』の曲に合わせて、有名な漢詩『川中島』を吟じ、踊っていたことです。外国人にもウケがいいように作られた作品で、聞いていてワクワクしました。

後半では、発声法の練習や、和歌をお客さんと一緒に即興で作り、その作った和歌を即興で恵聖さんが吟じるという楽しい企画がありました。次回は6月15日(土)14時開演「大道芸」です。お楽しみに。

(2月16日 東海道かわさき宿交流館)

『講談で交流』



講談で交流は、前座・二つ目の若手を応援する会ですが、今回は特別に、前座の田辺いちかさんと真打の一龍斎貞橋先生にお越しいただき、おかげさまで超満員でした!(真打の方は、落語では師匠、講談では先生という。)

まずは、田辺いちかさん。交流館には過去3回来てくださっています。噺は『出世瑠璃』。秋の碓氷峠を舞台にした話でした。いちかさんはいよいよ来月、二つ目になるとのことです。続いては、一龍斎貞橋先生。男性の講談師は最近少ないようなので、貴重な高座ですね。噺は『安兵衛 駆け付け』。赤穂浪士に出てくる堀部安兵衛の噺でした。

中入り(休憩)の後、お召し物を変えて再び貞橋先生の登場。平安末期から鎌倉時代に時代に活躍した歌人・西行法師が主

人公の『鼓ヶ滝』でした。落語にも『西行鼓ヶ滝』という噺がありますが、その講談バージョンです。最後は恒例の色紙じゃんけんで、盛り上がりました。

(2月20日 東海道かわさき宿交流館)

『カワサキ ストリート ミュージック バトル9』



「カワサキ ストリート ミュージック バトル」は、川崎を中心にライブハウスやストリートで活動するミュージシャンを応援するコンテストイベントです。カワサキストリート ミュージック ミーティングが主催し、「音楽のまち・かわさき」推進協議会もプロジェクトに参加しています。第9回目となる今年は、主に市内、県内で音楽事業を展開する団体の推薦を受け、2度の予選を勝ち抜いた7組のアーティストが、熱いライブを繰り広げました。

バトルの結果は音楽関係者の審査とともに、オーディエンス投票が鍵を握り、グランプリには「カナコレBAND」、準グランプリには「宏菜」が輝きました。カナコレBANDは、溝ノ口劇場(高津区)から川崎を盛り上げていくために結成された男女5人グループ。女性ボーカル・コーラスによる爽やかなサウンドが特徴で、今後はグランプリの副賞として様々なイベントやメディアに登場する予定です。どうぞお楽しみに!

(3月9日 サンピアンかわさき)

『リバーカフェ ランチ&コンサート』



ミュージア館中の特別企画第1弾は、川崎の新スポット「キングスカイフロント」内にあるトレックスリバーカフェでのランチ付コンサート。ウェルカムドリンクで乾杯、美味しいランチを堪能したあとは、ヴァイオリン:奥村愛さん&ギター:大萩康司さんのデュオによる聴きごたえ十分!な重厚プログラムをじっくりとお楽しみいただきました。

快晴にも恵まれたこの日、多摩川対岸に羽田を臨む川沿いを散歩する姿もちらほら。ゆったりと素敵な時間が流れていました。(3月9日 トレックス・カワサキ・リバーカフェ)

第116回

『川崎市定期能』



能「胡蝶」田邊哲久(撮影:前島吉裕)

観世流と大蔵流狂言の能楽師をお迎えして開催しました。

第1部は、柿を盗もうとした山伏と柿の木の主のやり取りが滑稽な有名狂言『柿山伏』と、死後の世界でも愛する人を想い続ける絶世の美女・楊貴妃を描いた能『楊貴妃』を上演。第2部は、水を汲みに行きたくない太郎冠者が鬼のふりをして主人を騙そうとする狂言『清水』と、能『胡蝶』を上演しました。

能『胡蝶』では、4月号巻頭インタビューで能について分かりやすく解説していただいた田邊哲久さんが、可愛い胡蝶の舞を披露。本公演のために手作りされた赤い梅の木も栄え、会場は春の訪れを感じるうらかな雰囲気になりました。次回は8月10日(土)開催予定です。

【お客さまの声より】

- 舞台の近さに驚きました。インパクトのある舞台と思います。(50代)
- まさに「日本の古典芸能」を鑑賞し、心から感動しました。(80歳以上)

(3月16日 川崎能楽堂)

『街道シリーズ 第20回』

『東海道品川宿を往く』



今回の街道講演会は、「東海道品川宿を往く 一江戸の花見は御殿山、ならぶ旅籠はオーシャンビュー!」と題し、品川区立品川歴史館専門委員の柘植信行さんにお越しいただきました。

品川宿は江戸日本橋から1番目の宿場町ということもあり、賑わいを感じられました。特に旅籠と人口の多さは川崎市の2~3倍なので、大きかったことが分かります。その他にも、当時の品川宿の評判や、お寺、地名の話、また今の時期はお花見なので江戸時代の御殿山の風景を描いた浮世絵なども見せていただきました。

次回5月25日(土)14時からは静岡大学名誉教授・本多隆成さんをお迎えして『徳川家康の大御所政治』を開催します。

(3月16日 東海道かわさき宿交流館)

平成30年度パラアート推進モデル事業 レポート

川崎市では、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めていくため「かわさきパラムーブメント」を展開しています。川崎市文化財団ではその取り組みの一つとして、障がいのある人もない人も共に芸術文化に親しむことのできる社会の実現を目指す「平成30年度パラアート推進モデル事業」を実施しました。

Colors かわさき展 未来へ向け色とりどりのアートが花咲く

昨年11月16日～25日に、ミュゼ川崎シンフォニーホール企画展示室にて、障がいの有無に関わらず、作品の魅力をダイレクトに感じてもらう展覧会を開催しました。

市内福祉施設等で活躍するアーティスト約40名、そして市立特別支援学校の子どもの作品等を展示し、計1,643名の皆様にお越しいただきました。



平成30年度パラアート推進公募型事業委託

障がいのある人もない人も共に文化芸術活動に取り組むためのモデルとなる事業を発掘し、事業の成果を先行事例として広く発信することを目的に、公募した4団体に事業を委託しました。

2019年度も
公募予定

※詳しくは
川崎市文化財団のHPを
ご確認ください。

●「パラアート地域交流サロン」 新規開設推進事業

(委託先)一般社団法人 ソーシャル・アーティスト・ネットワーク
障がいを持つ人もそうでない人も気軽に楽しく参加できるイベント「歌フェス2018」に楽器演奏で出演しました。また、ワークショップ(ミュージックベル、筆ペンアート等)を3回開催し、各回約20名が参加。地域交流と相互理解を図りました。



●当事者による 三色パステルアート普及活動 及びパラアートによる地域交流事業

(委託先)公益財団法人 神奈川県社会復帰支援会
障がいを持つ当事者が講師を務めるワークショップを福祉施設等9カ所で開催し、約100名の参加がありました。3色だけで誰もが驚く出来栄の絵を描くことができる不思議体験を通して、「垣根のない社会」の実現を目指しました。



●音を絵にしてみよう! 子どもたち&障がい児の為に ジャズでアートチャレンジ教室

(委託先)一般社団法人 ピック
ジャズを楽しみながら創作活動にチャレンジするワークショップを開催し、保護者等を含め約85名の参加がありました。子どもたちだけでなく、周りの人たちにも笑顔が溢れ、垣根を越えた笑顔での交流と心の解放が図られました。



●高校生以上を対象にした 映画副音声ガイド制作入門講座

(委託先)特定非営利活動法人 KAWASAKIアーツ
視覚障がいのある方に向けて映画の副音声ガイド制作を行う全4回の講座に、老若男女13名が参加し、副音声台本作りからライブ上映までを体験しました。視覚障がい者と介助者、相互の立場での歩行体験や中途失明の方の講演もあり、バリアフリーの視点を持つ人材の育成につながりました。



川崎アイeyeセンター 春のコンサート

クラリネット3人とアコーディオンという、異色の組み合わせによるカルテット『SPICY4(スパイシー・フォー)』の演奏です。1997年から自主コンサートを開催し、今年5月には40回目のコンサートが開催予定。クラシックは勿論、ポピュラー、ヒット曲、民族音楽他、オリジナル作品も含め、あらゆるジャンルの音楽のレパートリーを持つグループですので、どうぞ心ゆくまでお楽しみください。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。



[日 時] 2019年5月18日(土) 午後1時30分～午後3時

[会 場] ふれあいプラザかわさき2階ホール(川崎市川崎区堤根34-15 京浜急行線八丁駅徒歩5分・JR川崎駅徒歩15分)

[入場料] 無料 [予 約] 不要 [演奏曲] スターウォーズ組曲、愛よ永遠に(モーツァルト 交響曲第40番) ほか
※曲目変更の可能性がございます。

[お問い合わせ] 川崎市視覚障害者情報文化センター(愛称:川崎アイeyeセンター) 電話044-222-1611

アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

Event Calendar

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 □ = 休館日

2019.5

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
		Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	
アートガーデンかわさき(川崎区) 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・パーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日	第1展示室	放送大学写真クラブ写真展 4月30日(火・休)～5月5日(日・祝)				静雅書道会硬筆展 5月7日(火)～12日(日)								秀華書展 5月15日(水)～19日(日)				第3回タイルスタイル×4人展 5月21日(火)～26日(日)				東京アート展 5月29日(水)～6月2日(日)											
	第2展示室	新日美																															
	第3展示室	新日美神奈川支部展 4月30日(火・休)～5月5日(日・祝)				「憧れの富士山」写真展 5月7日(火)～12日(日)								ヨシダ絵画造形教室16回展 5月22日(水)～26日(日)				写真展「四季の彩」+α展 5月28日(火)～6月2日(日)															
川崎市教育文化会館市民ギャラリー(川崎区) 川崎区富士見2-1-3 TEL. 233-6361 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																	
幸市民館市民ギャラリー(幸区) 幸区戸手本町1-11-2(幸文化センター内) TEL. 541-3910 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																	
ミュージアム川崎シンフォニーホール 4F企画展示室(幸区) 幸区大宮町1310 TEL.520-0300 【休館日】5/15(月)														アトリエ「Kadan」展示会 5月15日(水)～19日(日)																			
中原市民館市民ギャラリー(中原区) 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1、2階 TEL. 433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		SYKフォトギャラリー SYKフォトクラブ 4月26日(金)～5月1日(水・祝)		グループフォト 写真展 5月3日(金・祝)～8日(水) ※8日は16時まで		第41回中原市民館 サークル祭(絵画 他) 5月10日(金)～12日(日) ※10日は12時から、12日は16時まで								ぼけぴんクラブ 写真展 5月17日(金)～22日(水)※20日休館				彩友会展(油絵) 5月24日(金)～29日(水)															
川崎市市民ミュージアム(中原区) 中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館) ※5月1日(水・祝)～6日(月・振)の間は休まず開館		有料 岩合光昭写真展 ねこづくし 4月23日(火)～6月30日(日) [2F企画展示室1、アートギャラリー1・2・3] 観覧料:一般800円、65歳以上・大学生・高校生600円、中学生以下無料																															
高津市民館市民ギャラリー(高津区) 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL. 814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		第12回 花友禅作品展 4月26日(金)～5月1日(水・祝)		第6回 年金者組合高津支部作品展 5月3日(金・祝)～8日(水) ※8日は17時まで		久末フォート クラブ 写真展 5月10日(金)～15日(水)		萌の会 日本画作品展 5月17日(金)～22日(水)※20日休館		川崎デッサン会作品展 5月24日(金)～29日(水) ※29日は16時まで		ライトフューチャーフォトクラブ 作品展示会 5月31日(金)～6月5日(水)																					
宮前市民館市民ギャラリー(宮前区) 宮前区宮前平2-20-4 TEL. 888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)						社会福祉法 人みのり会 第7回みのり会 合同作品展 5月10日(金)～15日(水)		押し花ユリノキ会作品展 5月17日(金)～22日(水)※20日休館		青彩会 作品展 5月24日(金)～28日(火)		遊墨会作品展 5月31日(金)～6月5日(水)																					
多摩市民館市民ギャラリー(多摩区) 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL. 935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)						地域密着型通所介 護事業所作品展 5月10日(金)～15日(水)								第13回多摩いきいき写真クラブ 写真展 5月24日(金)～29日(水)※29日は16時まで																			
川崎市岡本太郎美術館(多摩区) 多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 【休館日】毎週月曜日(5月6日を除く)、5月7日(火)、8日(水)		有料 企画展「岡本太郎と日本の伝統」4月27日(土)～6月30日(日) 観覧料:一般900円、高校・大学生・65歳以上700円、中学生以下は無料																															
麻生市民館市民ギャラリー(麻生区) 麻生区万福寺1-5-2 TEL. 951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		友墨会水墨画展 4月26日(金)～5月1日(水・祝)		しまりすアートクラブ作品展 (ウッドバーニング作品等) 5月3日(金・祝)～8日(水)		イリスの 会展 (パステル画、水彩画等) 5月10日(金)～15日(水)		ゆりの会・萌の会(日本画) 5月17日(金)～22日(水)※20日休館		第3回パステルアートを 楽しむ会作品展 5月24日(金)～29日(水)		オリジナルハンドメイドデコパージュ 趣味の会 デコパージュ展 5月31日(金)～6月5日(水)※6月3日休館																					

(注) 会期、時間等は各団体により、変更になることがありますので、ご確認の上ご来場ください。

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

企画展 / 4月23日(火)～6月30日(日)

岩合光昭写真展 ねこづくし



©Mitsuki Iwago

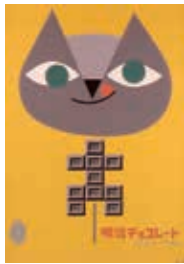
動物写真家・岩合光昭が日本各地で出逢った猫たちの中から、まとめての展示は初めてとなる「島の猫」をはじめ、「神奈川のネコ」、「やきもの里のネコ」シリーズを中心に200余点をご紹介します。

観覧料等

- 会場：2F企画展示室1、アートギャラリー1・2・3
- 観覧料：一般800円(640円)、65歳以上・大学生・高校生600円(480円)、中学生以下無料
- ※()内は20名以上の団体料金です ※障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料

企画展 / 4月13日(土)～6月30日(日)

ZooとArt 色とカタチのどうぶつ展



〈明治チョコレート ミルク・レーズン・ナガリタン〉
大橋正、1955年、川崎市市民ミュージアム所蔵

収蔵コレクションより、どうぶつを題材にした作品を「リアル」、「デザイン」、「コミカル」の3つの視点からご紹介します。また、数多くどうぶつを描いたレモン・サヴィニャックにも焦点を当て、ポスター作品を展示します。

観覧料等 岩合光昭写真展の観覧で無料!

- 会場：2F企画展示室2
- 観覧料：一般200円(160円)、65歳以上・大学生・高校生150円(120円)、中学生以下無料
- ※()内は20名以上の団体料金です
- ※障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料

映画上映 / 5月3日(金・祝)～5月5日(日・祝)

「岩合光昭写真展 ねこづくし」関連上映

「岩合光昭写真展 ねこづくし」の開催にあわせて、世界のネコが登場する映画を上映します。



『猫が教えてくれたこと』
©2016 Nine Cats LLC

上映日・料金等

- 会場：1F映像ホール
- 料金：1プログラムにつき 一般600円 / 65歳以上・大学生・高校生500円 / 小中学生400円
- ※未就学児、障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料

●上映作品 / 『猫が教えてくれたこと』、『こねこ』、『黒猫・白猫』

※その他、イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。
<http://www.kawasaki-museum.jp/event/>

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 FAX. 754-4533
【アクセス】JR・東急「武蔵小杉」駅北口1番乗り場からバスで約10分
【開館時間】9:30～17:00(入場は閉館の30分前まで)
【休館日】月曜日 ※5月1日～6日の間は休まず開館
<http://www.kawasaki-museum.jp/>

●ホームページ、Twitter、Facebook、Instagramにて情報発信中!



川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

有料

企画展 / 4月27日(土)～6月30日(日)

「岡本太郎と日本の伝統」

1951年11月、岡本太郎は東京国立博物館において縄文土器と出会い、その4次元的な造形力に衝撃を覚え翌年、美術雑誌『みづゑ』に「四次元との対話—縄文土器論」を発表します。これに端を発し、岡本はいわゆる「わび」「さび」とは異なる、他の東アジア地域からの文化的影響を受容する以前の、本来の日本の文化、日本人の美意識とは何かについて考察を深め、1956年、著書『日本の伝統』として結実させています。同書のために岡本は本来の日本と考えた文化事象を、自らシャッターを切ってカメラに収めています。縄文土器・土偶、京都の古刹の中世の庭など。その写真は、岡本が撮影した写真のなかでも、記録性を超えた写真芸術の高みにまで到達しています。



岡本太郎撮影(土偶)
東大人類学教室 1956年3月23日

本展は、岡本の著作『日本の伝統』をもとに、岡本による写真作品を中心として、「日本の伝統」とは何かを再考する機会となることを願って開催します。

観覧料等

- 料 金：4月27日(土)～6月30日(日)
一般900(720)円、高・大学生・65歳以上700(560)円、中学生以下は無料
- ※()は20名以上の団体料金
- 休館日：月曜日(5月6日(月)を除く)、5月7日(火)、5月8日(水)

◆泳げ! TARO鯉!

- 太郎さんが空を悠々と舞う鯉のぼりをつくりたいと「自分勝手に」描いたTARO鯉。そのTARO鯉にちなみワークショップを開催しました。今回は参加されたみなさんの作品を展示してご紹介します。
- 展示期間：5月1日(水・祝)～6日(月・振)開館時間中
 - 場所：母の塔前広場(屋外) ※雨天中止



◆専修大学EmoHill

新元号ファーストライブ

- 専修大学アカペラサークル「EmoHill」によるライブ。春の美術館の心地よいテラスで、フレッシュなハーモニーのストリートライブをお楽しみください。
- 日時：5月1日(水・祝)時間未定 ※決定次第ホームページでお知らせします。
 - 場所：岡本太郎美術館カフェ前(屋外) ●料金：無料
 - ※荒天中止



◆みんなでつくろう! こどもの樹

- 太郎さんの彫刻作品《こどもの樹》には、個性豊かな、皆違う顔が並びます。今回は、みんなで自由に顔を描き、《こどもの樹》をつくりましょう!
- 日時：5月3日(金・祝)～5日(日・祝) 各日10:00～16:00
 - 対象：どなたでも ●場所：美術館ギャラリースペース ●料金：無料
 - 展示期間：～5/31(金)まで 開館時間中



◆美術館でフラワーレッスンVol.3

「母の日のBOXアレンジ」

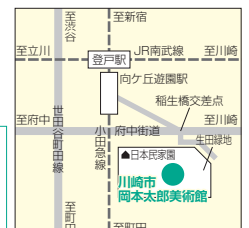
- 母の日のプレゼントに最適なBOXタイプのプリザーブドフラワーアレンジを制作します。美術館ロゴプレートとメッセージカードもお付けするスペシャル版。美術館展示を観覧して、創作気分を高めてから制作します。
- 日時：5月6日(月・振)1回目10:30～12:30
2回目14:00～16:00
 - 講師：大津聖子(日比谷花壇)
 - 対象：どなたでも(小学3年生以下保護者同伴)
 - 定員：各回20名 ●場所：創作アトリエ ●料金：1,800円+観覧料
 - 申込：電話受付(4月5日(金)10:00から受付開始)、先着順



※その他、イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。
<http://www.taromuseum.jp>

多摩区枳形7-1-5 TEL. 900-9898 FAX. 900-9966
【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分
専修大学前下車徒歩6分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休館日】月曜日(5月6日(月)を除く)、5月7日(火)、5月8日(水)
<http://www.taromuseum.jp>

●ホームページ、Facebookにて情報発信中





しんゆりシアター 劇団わが町試演会

芝居をつくろう

演出：ふじたあさや、大谷賢治郎 (company ma)

2019年2月に金子みすゞの生涯を描いた作品『みすゞ凜々』を劇団わが町が上演。金子みすゞが残した詩の一つに「わたしと小鳥とすずと」がある。今回はその中の一文「みんなちがって、みんないい」をテーマにワークショップを行い、最後は短い作品にまとめる。出演以外のスタッフワークも劇団員主導で行うワークショップの集大成を披露。

2019年5月12日(日)

どなたでもご自由にご覧頂くことができます。(要予約。全席自由)

※詳細は川崎市アートセンター 044-955-0107までお問合せ下さい。



2018年「芝居をつくろう〜いそっふ時より〜」舞台写真 ©関口淳吉

劇団員
募集!

しんゆりシアター 劇団わが町

新百合ヶ丘発・市民劇団(劇団わが町)の劇団員追加オーディションを開催!2020年2月の公演や、さらにその先をみすゞの活動をします。舞台が好きの方はもちろん、未経験でも大丈夫。新しい仲間と作品創りの楽しさや達成感を共有してみませんか。

[オーディション日程]2019年5月26日(日) ※会場は新百合ヶ丘近辺(予定)

[応募条件]2020年2月の本番やその先の活動に参加できる方。稽古に通える方。(2019年9月より原則日曜日、公演が近づくにつれ3~5日。時間は週末は午後、平日は夜間が中心。)年齢制限なし。出欠応相談。

[応募方法]応募用紙(川崎市アートセンターホームページよりダウンロード等)に必要な事項をご記入の上、川崎市アートセンターまでご応募ください。

[応募締切]2019年5月13日(月)必着

※詳細は川崎市アートセンター 044-955-0107までお問合せ頂くか、ホームページをご覧ください。



2019年「みすゞ凜々」舞台写真 ©関口淳吉

しんゆりジャズスクエアvol.39

キャロル山崎カムバック!
最新アルバム「CAROL」から名曲の数々を唄う

再演希望にお応えし、日本ジャズボーカル大賞受賞のキャロル山崎が1年ぶりに登場!
演奏予定曲:「The Gift」「奥様は魔女」「Sing Sing Sing」「My Favorite Things」ほか

2019年6月21日(金)19:00開演 ※開場は開演の30分前

[出演者]キャロル山崎(vo)、安齋孝秋(p)、小澤基良(b)、田辺充邦(g)、中村誠(ds)

[チケット]一般 2,500円、2枚セット券4,500円、4枚セット券8,500円(全席自由・税込) ※4月22日(月)発売

★年間パスポート★

年間5回の開催を予定している「しんゆりジャズスクエア」をもっと大勢の方に楽しんで頂きたいと、お得な年間パスポートをご用意しました!

特典①:開場5分前までにお越しくださいれば優先入場。

特典②:前売り完売でも必ずご入場頂けます。

特典③:チケットを追加でご購入される場合、前売り券・当日券ともに1枚2,000円でご購入頂けます。(売り切れの場合のぞく)

※年間パスポートは購入者ご本人だけでなく、ご家族・ご友人もご利用頂けます。 ※4月22日(月)~6月21日(金)までの期間限定販売。

[料金]10,000円

[チケット取扱い] ●tel エリアブレイン 044-954-9990(平日10:00~18:00)

●窓口 川崎市アートセンター 9:00~19:30(原則毎月第二月曜除く)

●web 川崎市アートセンター <http://kawasaki-ac.jp/th/>

※年間パスポートはwebではお取り扱いしておりません。



キャロル山崎(vo)



安齋孝秋(p)



小澤基良(b)



田辺充邦(g)



中村誠(ds)

—今後のラインナップ—

- 2019年 9月27日(金) 昭和音楽大学ジャズコース講師陣による秋の夜長スタンダード特集
- 2019年11月22日(金) ヘレンメリル、ジュンクリスティ、ジュリーロンドンなどの名曲の数々を坂井レイラ知美が熱唱!
- 2020年 1月24日(金) シンガーズアンリミテッドなどの名曲をジャズコーラスグループのブリーズが歌う!
- 2020年 3月20日(金・祝) エラフィッツジェラルド、サラボーン、カーメンマックレーなどの名曲の数々を渡辺明日香が熱唱!

山猫 4K修復版

4.27(土)～5.3(金)祝

1963年|イタリア、フランス|カラー|シネスコ|3h06|DCP

監督:ルキノ・ヴィスコンティ

出演:パート・ランカスター、アラン・ドロン、クラウドピア・カルディナーレ

1963年カンヌ国際映画祭で最高賞〈グランプリ〉に輝いた巨匠ルキノ・ヴィスコンティの不朽の名作。統一戦争に揺れるイタリアを舞台に、歴史の波にのまれゆく誇り高いイタリア貴族の栄華と悲哀、新旧2つの時代の移り変わりを、豪華絢爛な衣装と美術、ニーノ・ロータの重厚な音楽が壮麗に描く一大叙事詩。原作はシチリア貴族ジュゼッペ・トマーゾ・ディ・ランペドゥーサの生涯唯一の長編小説。〈特別料金〉



アガサ・クリスティー ねじれた家

5.4(土)祝～5.24(金)

2017年|イギリス|カラー|シネスコ|1h55|DCP

監督:ジル・バケ=ブレネール

出演:グレン・クロウズ、テレンス・スタンプ、マックス・アイアンズ、ステファニー・マティニーニ、
ジリアン・アンダーソン、クリスティーナ・ヘンドリックス

1920年のデビューから100年で20億冊もの売り上げを記録する、世紀のベストセラー作家アガサ・クリスティーが自身の〈最高傑作〉だと誇る、1949年に発表されたミステリー小説「ねじれた家」を初映画化。巨万の富を築いた大富豪が毒殺され、容疑をかけられた“心のねじれた”家族が巻き起こす、気品と謎に包まれた完全無欠の殺人ミステリー。



©2017 Crooked House Productions Ltd.

ビリーブ 未来の大逆転

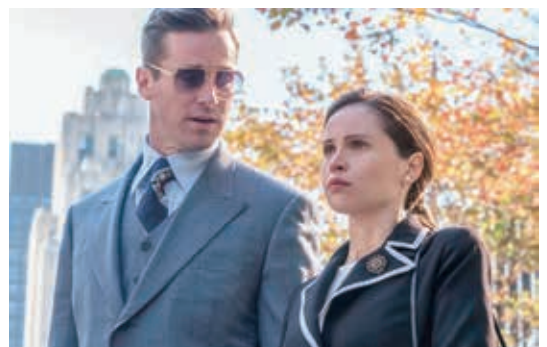
5.4(土)祝～5.17(金)

2018年|アメリカ|カラー|ビスタ|2h|DCP

監督:ミミ・レダー

出演:フェリシティ・ジョーンズ、アーミー・ハマー、キャシー・ベイツ

1970年代、アメリカ。女性が職に就くのが難しく、自分の名前でクレジットカードさえ作れなかった時代に、勝率0%と言われた〈男女平等〉裁判に挑んだ、弁護士ルース・ギンズバーク。貧しさと差別をバネに、弱い立場の人々と手を組んで権力に立ち向かう。85歳の今なお最高判事として現役で活躍中のルースの、時代を変えた世紀の逆転劇を描く感動の実話。



©2018 STORYTELLER DISTRIBUTION CO., LLC.

初恋～お父さん、チビがいなくなりました

5.11(土)～6.7(金)

2019年|日本|カラー|シネスコ|1h43|DCP

監督:小林聖太郎 出演:倍賞千恵子、藤竜也、市川実日子、佐藤流司、小林且弥

3人の子供が巣立ち、人生の晩年を夫婦ふたりと猫一匹で暮らしている勝と有喜子。勝は無口、頑固、家では何もしないという絵に描いたような昭和の男。そんな勝の世話を焼く有喜子の話し相手は飼った猫のチビだ。ある日有喜子は、娘に「お父さんと別れようと思っている」と告げる。そんな時、有喜子の心の拠り所だった猫のチビが姿を消してしまい…。西炯子の人気コミックを映画化。



©2019 西炯子・小学館/「お父さん、チビがいなくなりました」製作委員会

希望の灯り

5.18(土)～5.31(金)

2018年|ドイツ|カラー|ビスタ|2h05|DCP

監督・脚本:トーマス・ステューバー

出演:フランツ・ロゴフスキ、ザンドラ・ヒュラー、ペーター・クルト

内気で引きこもりがちな27歳のクリスティアンは、在庫管理担当としてスーパーマーケットで働き始め、仕事を教えてくれる中年男性のブルーノや、謎めいた魅力の人妻マリオンと出会う。旧東ドイツの巨大スーパーを舞台に、1989年のベルリンの壁崩壊、1990年の東西統一によって祖国を喪失した悲しみを静かに受け止め、つつましく生きる人々の日常を描く物語。



©2018 Sommerhaus Filmproduktion GmbH

マックイーン モードの反逆児

5.25(土)~5.31(金)

2018年|イギリス|カラー|ビスタ|1h51|DCP 監督:ピーター・エテッドギー、イアン・ポノート
 出演:リー・アレクサンダー・マックイーン、イザベラ・プロウ、トム・フォード

過激なショーで〈モードの反逆児〉と名付けられ、34歳で英国女王から大英帝国勲章を授与されるまでになりながらも、富と名声の絶頂期にいた40歳で突然、自ら命を絶ってしまったファッションデザイナー、アレクサンダー・マックイーン。ロンドンの労働階級の街イーストエンド出身の青年が、いかにして無一文からトップデザイナーへと駆け上がったのかを描いたドキュメンタリー。



©Salon Galahad Ltd 2018

ある少年の告白

5.25(土)~6.7(金)

2018年|アメリカ|カラー|ビスタ|1h55|DCP 監督・脚本:ジョエル・エドガートン
 出演:ルーカス・ヘッジズ、ニコール・キッドマン、ジョエル・エドガートン、ラッセル・クロウ、グザヴィエ・ドラン

アメリカの田舎町。信仰深い牧師の父と母のひとり息子として、何不自由なく育ったジャレッド。彼はあるとき、思いがけない出来事をきっかけに自分は男性のことが好きだと気づく。しかし、息子の告白を受け止めきれない両親が勧めたのは、同性愛を“治す”という矯正セラピーへの参加だった。原作がNYタイムズによるベストセラーに選ばれるなど、全米で大きな反響を呼んだ実話をもとに描かれる衝撃作。



©2018 UNERASED FILM, INC.

魂のゆくえ

5.25(土)~6.7(金)

2017年|アメリカ|カラー|スタンダード|1h53|DCP
 監督・脚本:ポール・シュレイダー
 出演:イーサン・ホーク、アマンダ・セイフライド、セドリック・カイルズ

ハリウッドの巨匠ポール・シュレイダーが構想50年の末に完成させた渾身作。戦争で失った息子への罪悪感を背負って暮らす牧師が、自分の所属する教会が社会的な問題を抱えていることに気づき、徐々に諦念と怒りで満ちていく様子を衝撃的に描いていく。聖職者でありながら内なる怒りと葛藤を抱える主人公トラー牧師を、イーサン・ホークが熱演。



©Ferrocyamide, Inc. 2017. All Rights Reserved.

川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県 川崎市 麻生区万福寺6-7-1
 Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200 info@kawasaki-ac.jp http://kawasaki-ac.jp/
 小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

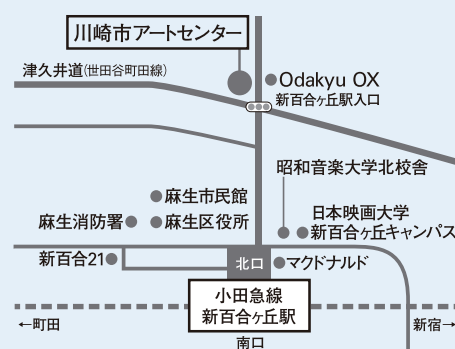
チケットは当日9:00より受付にて販売します。(自由席/整理番号順入場)

◆各種割引《お一人様1000円!》

- 木曜日はメンズデー ●金曜日はレディースデー ●夫婦50割

◆アルテリオ・シネマ会員募集中! いつでもお得なシネマ会員価格でみられます!

- 入会金500円 ●年会費1000円(1年更新制)
 - ポイント5つで招待券1枚プレゼント!
 - 同伴者割引:1名様まで、一般料金1800円~1300円の作品は一律1200円に割引!
- ご入会手続きは受付でのみ承っております。



毎月 第三火曜日 **ラゾーナ寄席**
 のお楽しみ 2019

第83回 2019年
 5月21日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

- 会場…ラゾーナ川崎プラザソル
 〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F
- 出演…三遊亭圓馬・桂米多朗・笑福亭竹三・笑福亭茶光
- 入場料…全席自由2,000円・25歳以下1,000円
 (終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)
- 予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル
 電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151
 E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



三遊亭圓馬

第27回 **かわさき市民 アンデパンダン展**

市内在住・在勤・在学者のアンデパンダン公募展(絵画・書道・写真)

— 作品募集 —

[募集期間]

4月25日(木)～5月31日(金)

◎詳しくは募集要項をご覧ください。
 (区役所・市民館・図書館で4月下旬配布予定)

[申し込み先]

(公財)川崎市文化財団

(アートガーデンかわさき)

TEL. 044-200-1415

川崎市文化財団HPからも申し込みます。

www.kbz.or.jp



[開催期間]

6月25日(火)～7月7日(日) ※7月1日(月)は休館日

10時～18時(入場終了17時30分) ※最終日は15時まで

※講評:7月7日(日)13:00～15:00

[会場]

アートガーデンかわさき

主催/川崎市民美術協議会・公益財団法人川崎市文化財団

共催/川崎市教育委員会

後援/川崎市

かわさき市民
 アンデパンダン展
 とは…

川崎市で40年以上にわたって開催されている公募制の総合美術展です。出品作品に入選・入賞などの優劣をつけない無審査方式で行われており、市民の自由な創作発表の場となっています。最終日には講評会が行われ、出品者一人一人がプロの講師による講評やアドバイスを受けられるなど、出品者や美術愛好家の交流の場となっています。

公益財団法人 川崎市文化財団

〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階
 TEL.044(272)7366 FAX.044(544)9647 http://www.kbz.or.jp
 令和元年5月1日発行

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。

川崎市文化財団 検索

◎印刷・製本/八幡印刷(株) TEL.044-542-2311